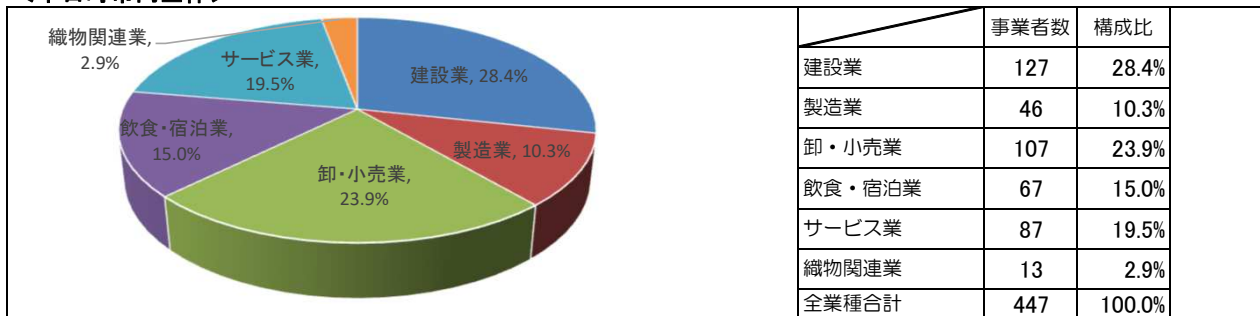


十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R2.7.1~R2.9.30) 会議所地区

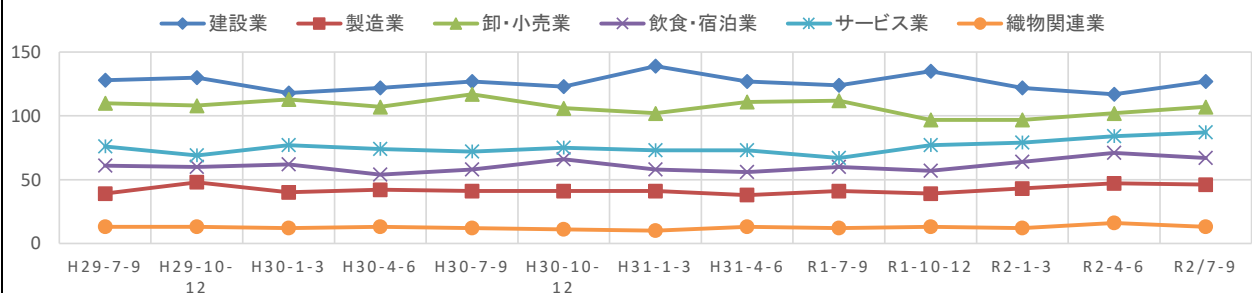
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

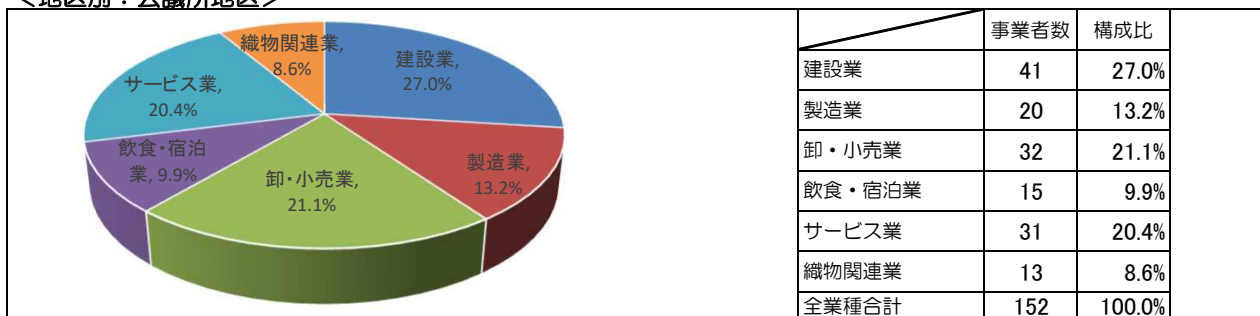


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

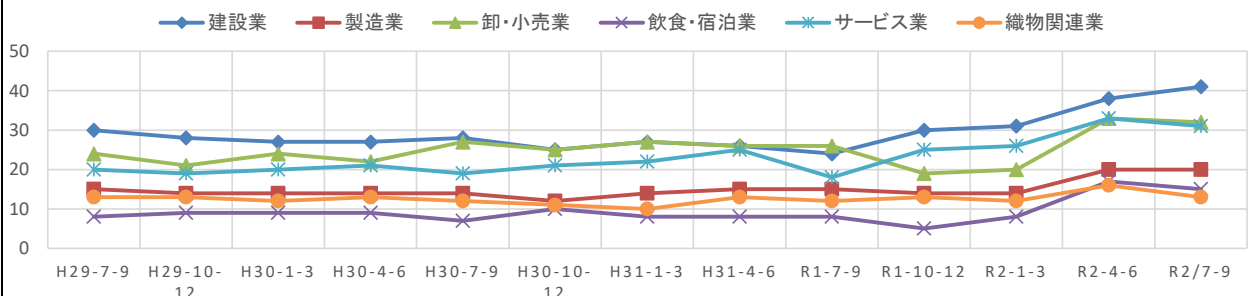


<コメント> 今年度より、十日町商工会議所と十日町市内5商工会地区のデータを統合しており、多くのサンプル数を集計することでより正確な調査結果が得られるものとなっている。回答事業所数も前回調査時よりも10事業所増えており、今後もできるだけ増やしてゆきたい。なお、織物関連業は会議所地区のみが対象としているため、他業種よりもサンプル数が少ない。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



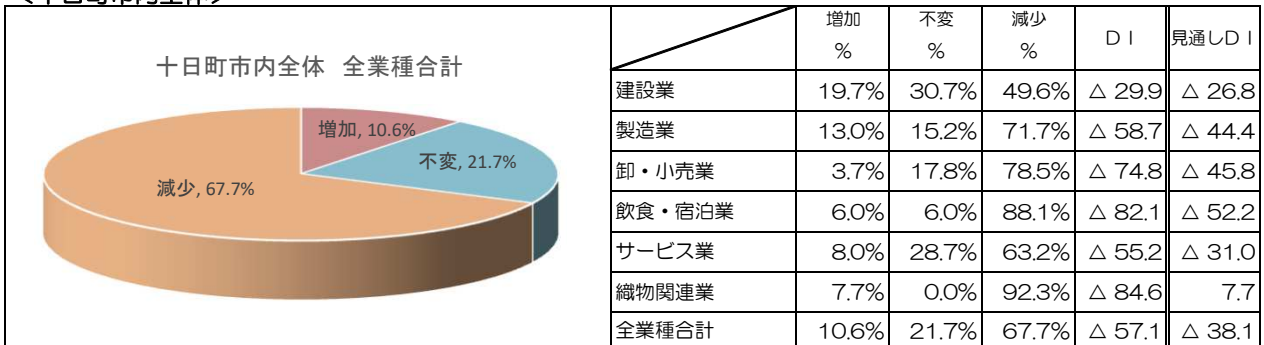
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、配布201事業所の内152事業所からの回答があり、回収率は75.6%であった。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

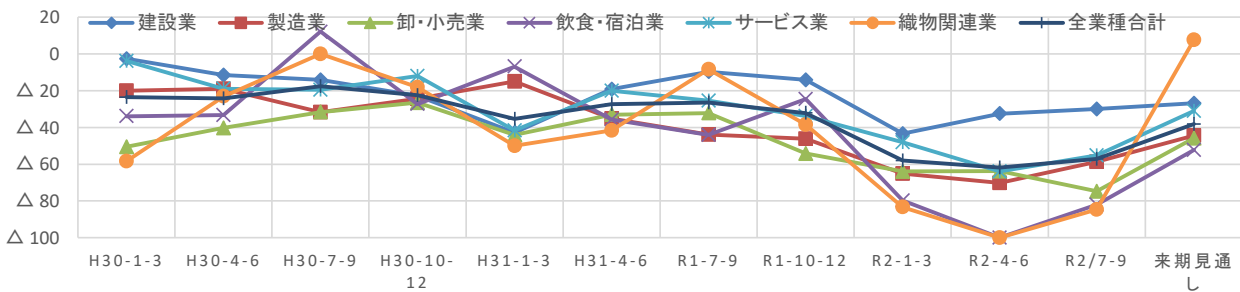
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

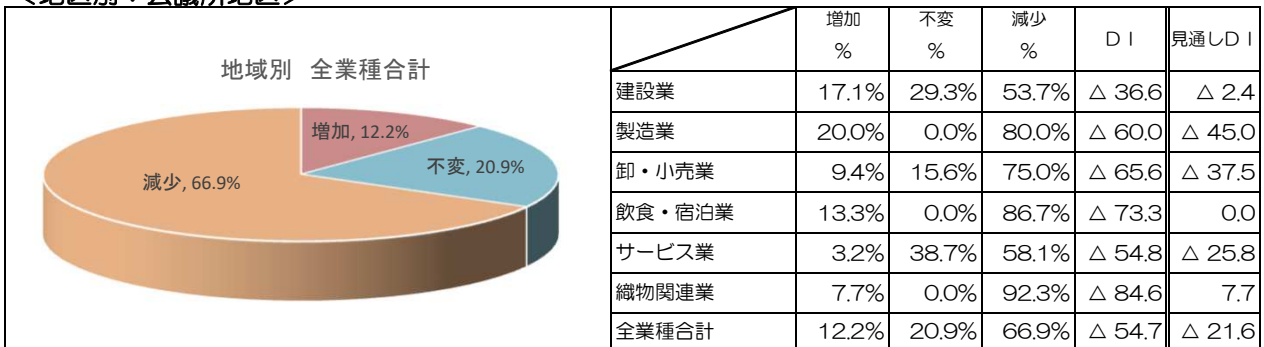


業種別売上の推移（市内全体）

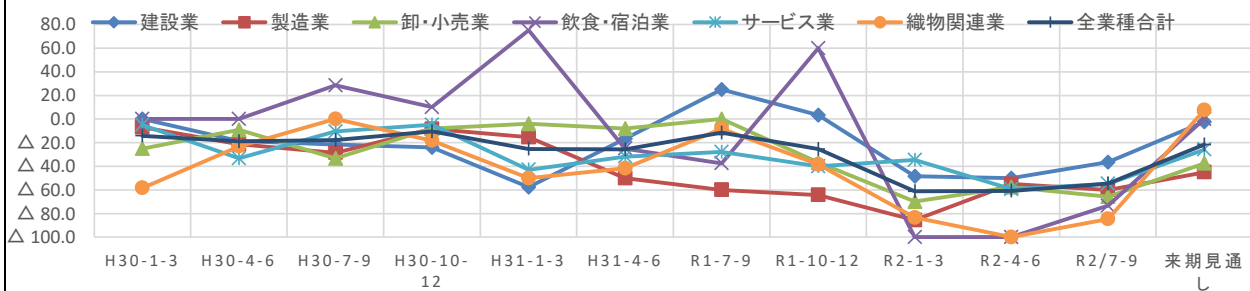


<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△57.1ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント増加となっている。前期調査時は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んでいたが、卸・小売業以外の業種で増加が示されており、更に来期見通しでは全ての業種で増加予測されている。今後もプレミアム商品券事業も予定されており、予測通りの結果が出ることを期待したい。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

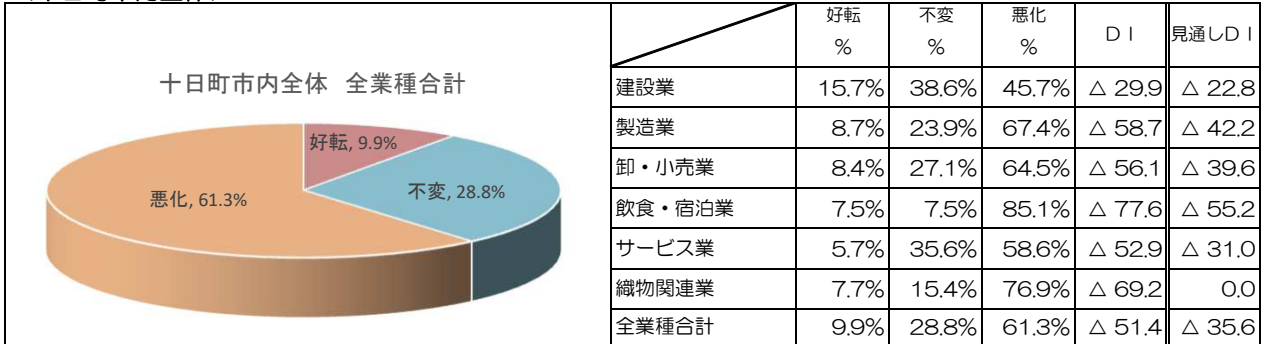


<コメント> 会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△54.7ポイント（前期比6.0ポイント増）であった。業種別にみると、飲食・宿泊業で△73.3ポイント（前期比26.7ポイント増）、織物関連業で△84.6ポイント（前期比15.4ポイント増）と改善したものの、卸・小売業が△65.6ポイント（前期比8.0ポイント減）、製造業が△60.0ポイント（前期比5.0ポイント減）と悪化した。

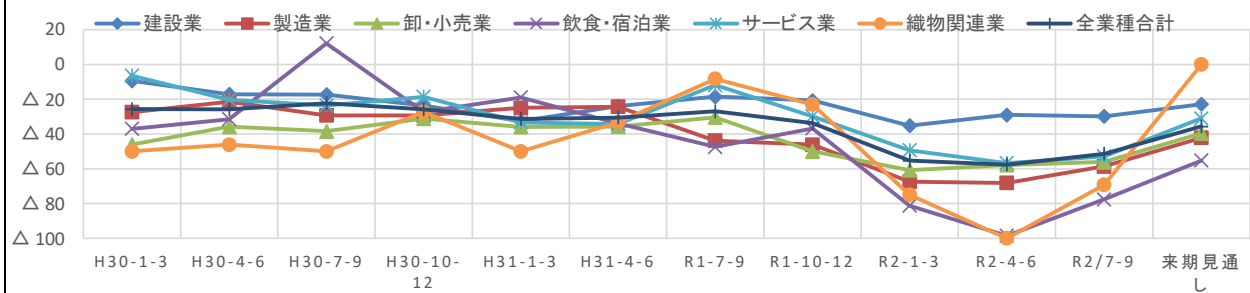
## 2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>

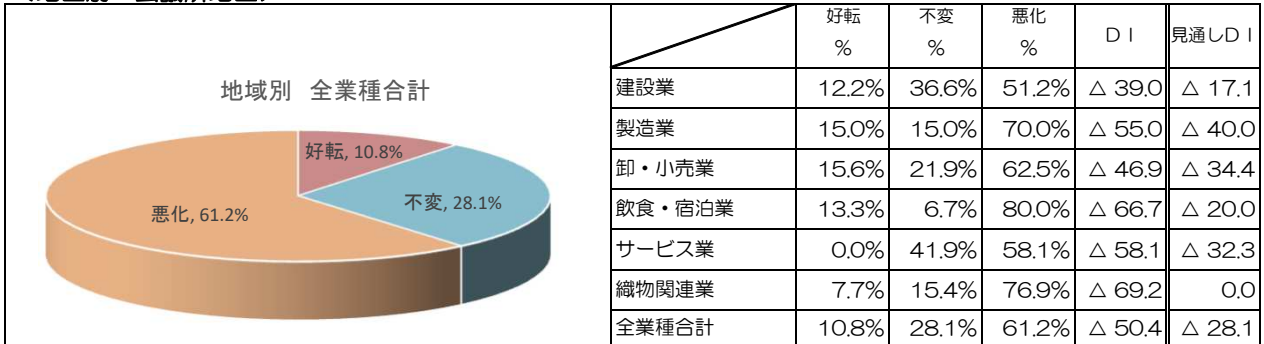


### 業種別採算の推移(市内全体)

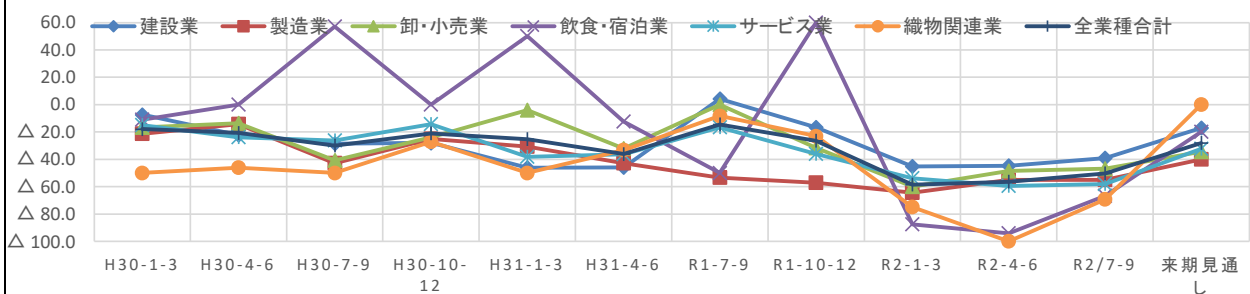


<コメント> 十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△51.4ポイントで、前回調査時よりも6.2ポイント好転している。採算状況は売上状況に比例する傾向にあることから、推移波形も売上状況に類似している。売上状況では唯一卸・小売業にて前期比減少であったが、採算業況では卸・小売業も前期より1.7ポイント好転している。売上状況同様、来期見通しの予測どおりとなるよう期待したい。

### <地区別：会議所地区>



### 業種別採算の推移(地区別)

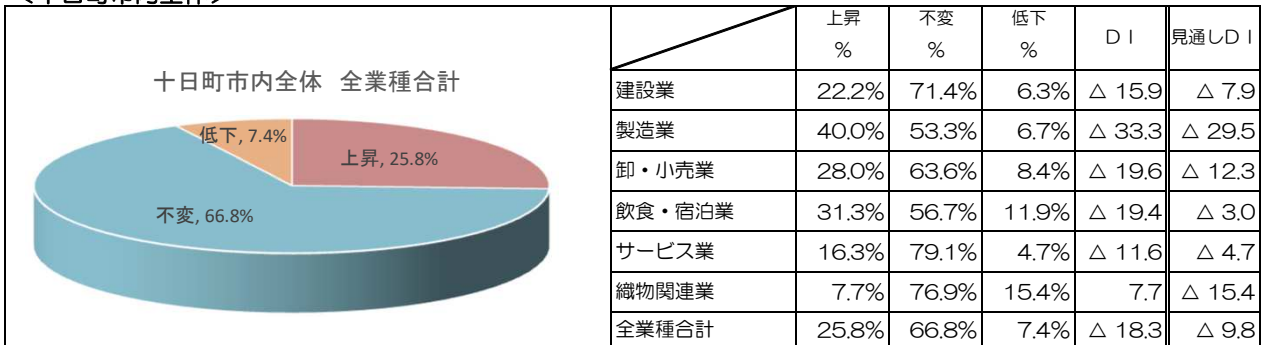


<コメント> 会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△50.4ポイント（前期比6.0ポイント増）であった。業種別にみると、製造業が△55.0ポイント（前期比プラスマイナスゼロ）で横ばいだったものの、織物関連業が△69.2ポイント（前期比30.8ポイント増）、飲食・宿泊業が△66.7ポイント（前期比27.4ポイント増）と改善しており、その他の業種も前期と比べて改善している。

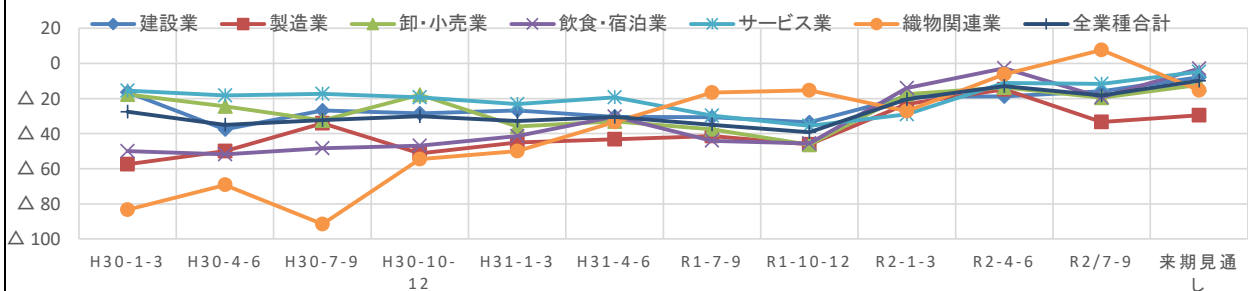
### 3. 仕入単価について

- ・ 7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>



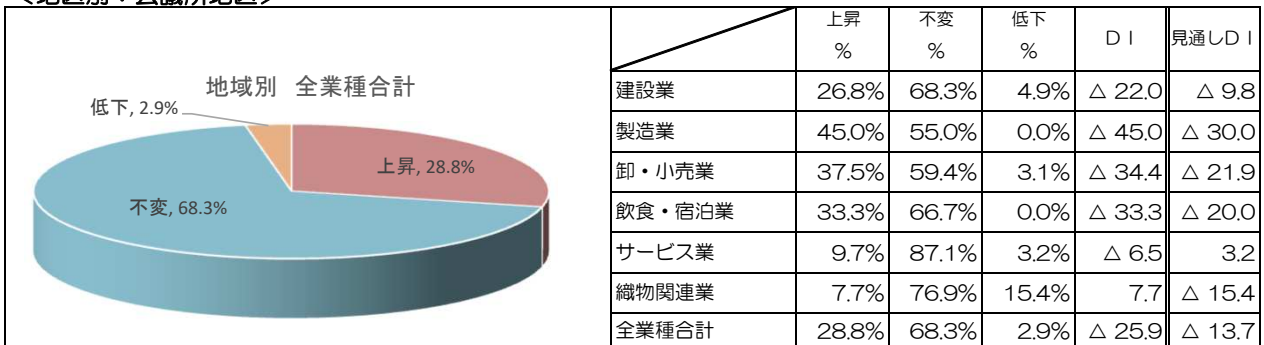
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



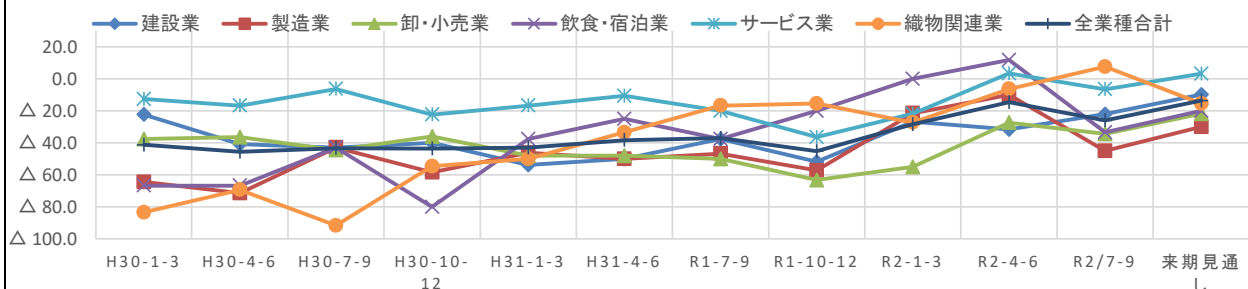
#### <コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△18.3ポイントで、前回調査時よりも5.4ポイント上昇（仕入単価の低下）している。建設業と織物関連業以外に単価上昇が見られる。来期予測では織物関連業を除く全ての業種で今期よりも低下することが予測されている。

#### <地区別：会議所地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



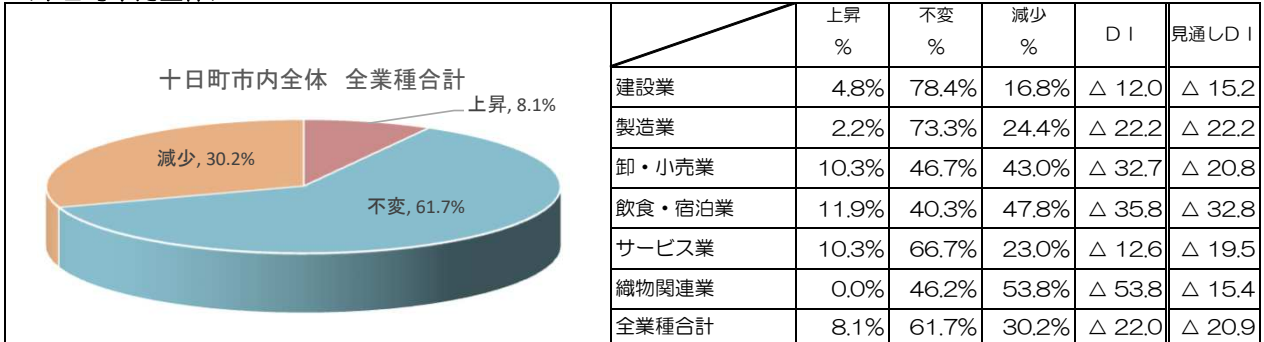
#### <コメント>

会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△25.9ポイント（前期比11.4ポイント減）であった。業種別にみると、飲食・宿泊業で△33.3ポイント（前期比45.1ポイント減）、製造業で△45.0ポイント（前期比35.0ポイント減）と仕入単価の上昇が見られる。来期見通しの全体DI値は単価低下予測がされているものの、織物関連業において単価上昇予測がされている。

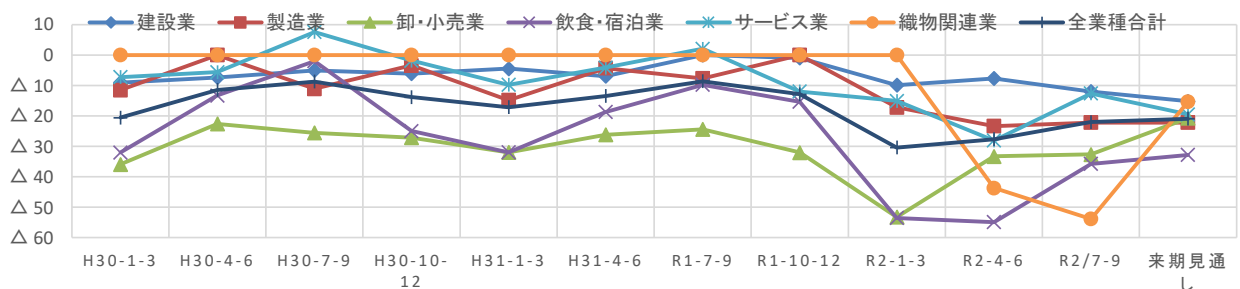
#### 4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <十日町市内全体>

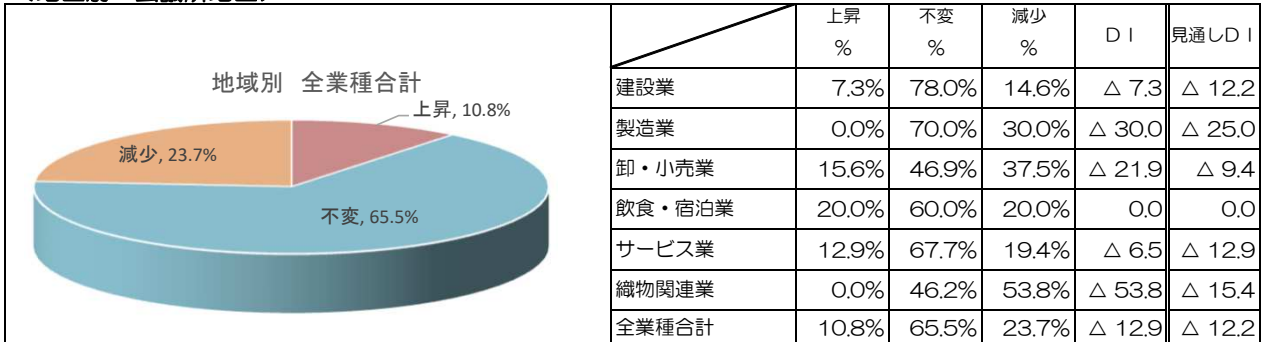


#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

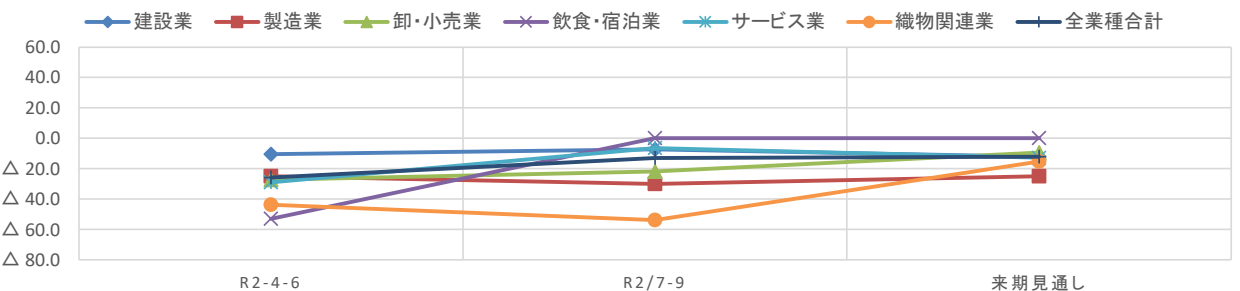


<コメント> 十日町市内全体の今期の販売（客）単価状況は、全業種D I値で△22.0ポイントで、前回調査時よりも5.7ポイント上昇している。飲食・宿泊業とサービス業にて上昇が見られ、前期のコロナ感染症の影響から少しは脱していることと推測する。来期見通しにおいては、卸・小売業や飲食・宿泊業、織物関連業にて上昇予測があるものの、建設業とサービス業で減少予測があり全業種では今期同様と思われる。

##### <地区別：会議所地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）

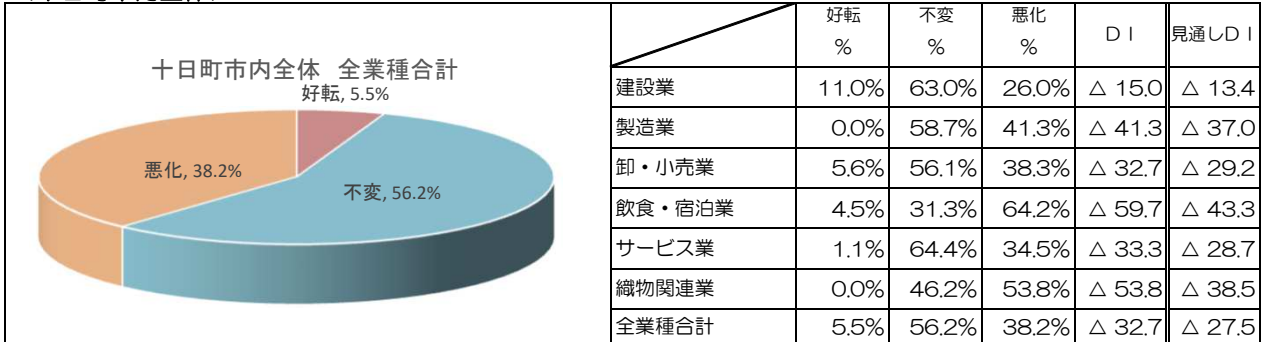


<コメント> 会議所地区の今期の販売（客）単価の状況は、全業種D I値で△12.9ポイント（前期比13.0ポイント増）であった。織物関連業と製造業で単価の減少が見られるが、飲食・宿泊業（前期比52.9ポイント増）をはじめ、その他の業種ではポイントが増加した。  
※会議所地区では、R2.4-6月期から販売（客）単価の状況について項目を設けた。

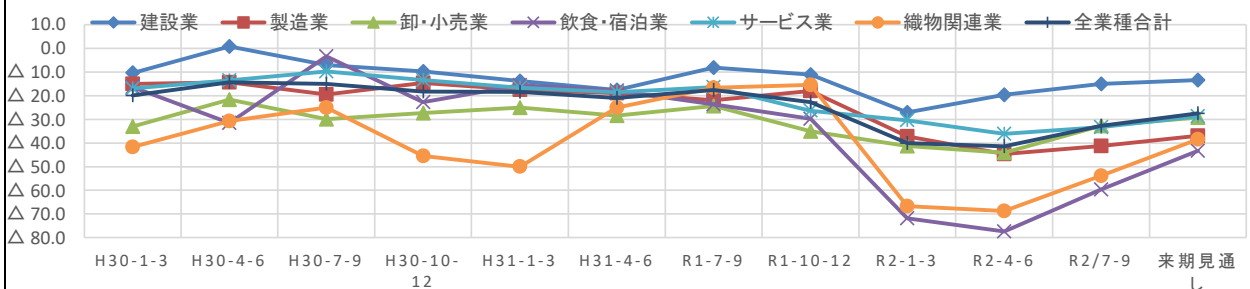
5. 資金繰りについて

- ・ 7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

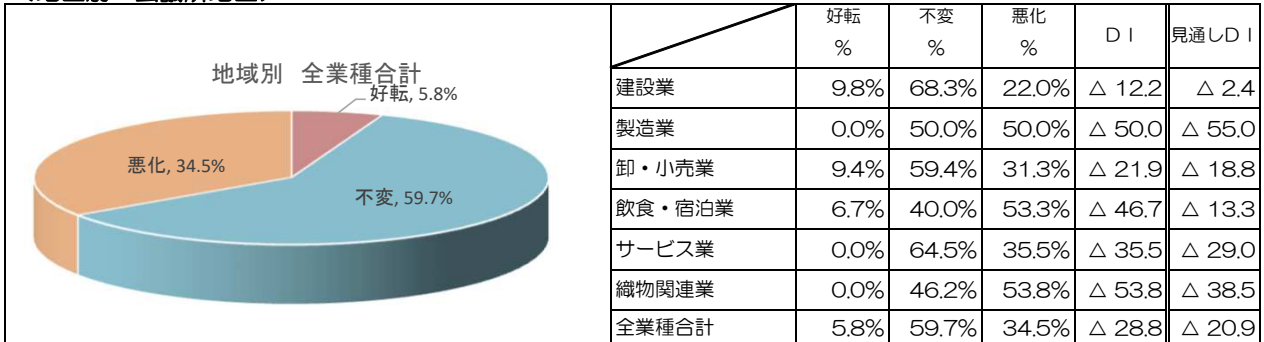


業種別資金繰りの推移(市内全体)

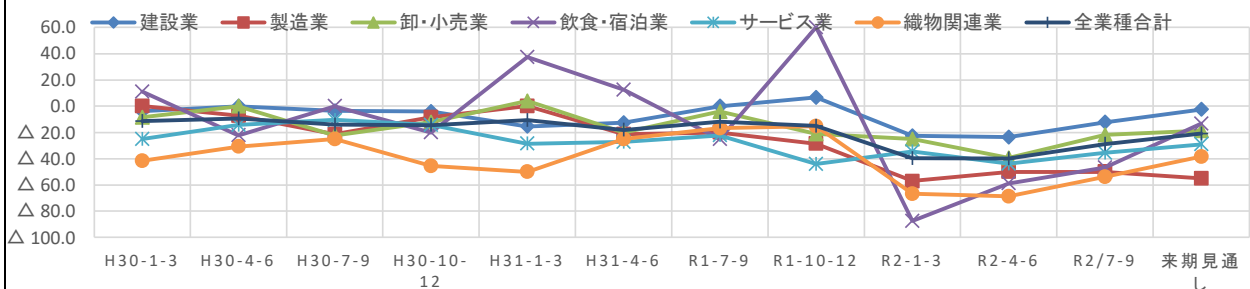


<コメント> 十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△32.7ポイントで、前回調査時よりも8.7ポイント好転している。推移グラフの波形で分かったとおり、全ての業種にて前回調査時よりも好転しており、さらに来期見通しも今期よりも好転するものと予測されている。前期、前々期の悪化状況から改善傾向にあるものの、年末資金がショートしないよう事業所ごとの内容を把握したい。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

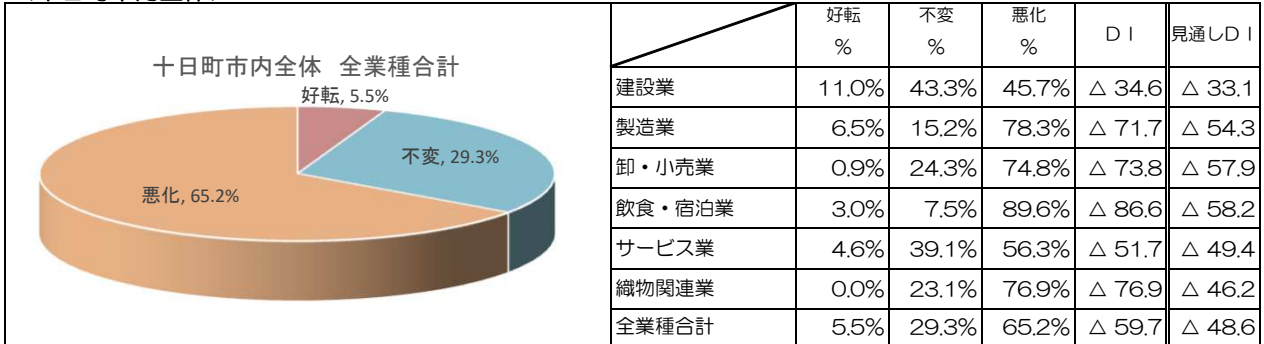


<コメント> 会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△28.8ポイント（前期比11.2ポイント増）と改善した。製造業が△50.0ポイント（前期比プラスマイナスゼロ）で横ばいなものの、その他の業種は改善をしている。来期見通しにおいては、製造業が△55.0ポイントで悪化予測がされており、今後の動向を注視したい。

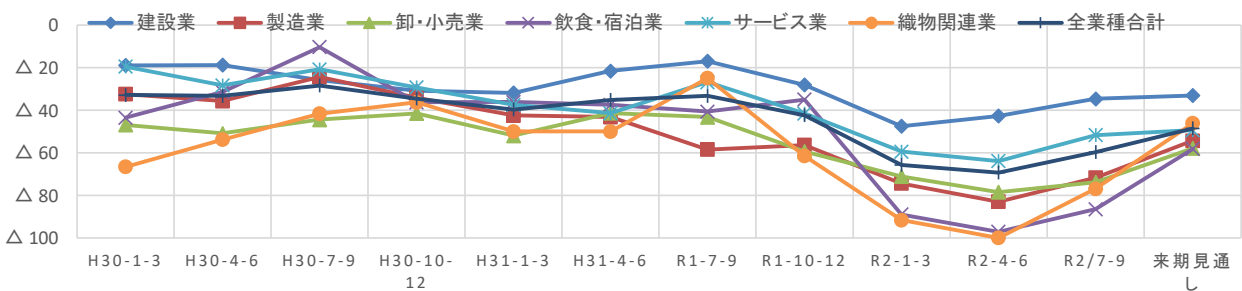
6. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

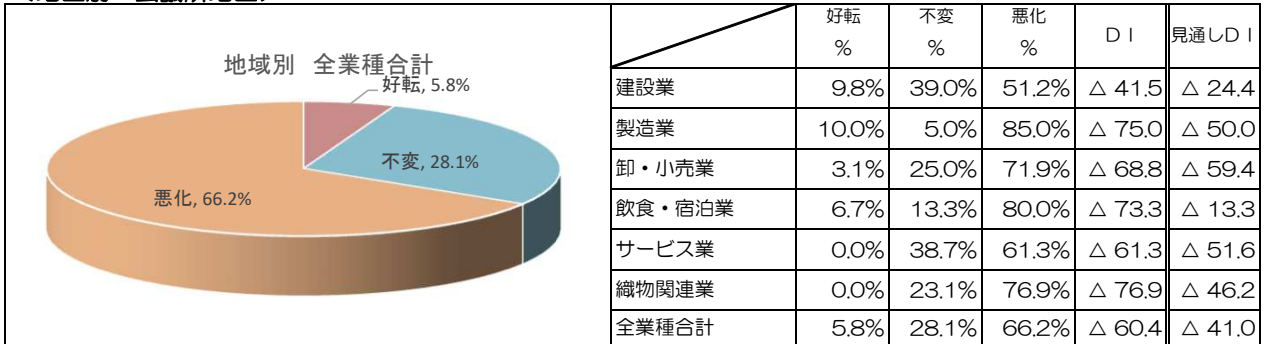


業種別景況判断の推移(市内全体)

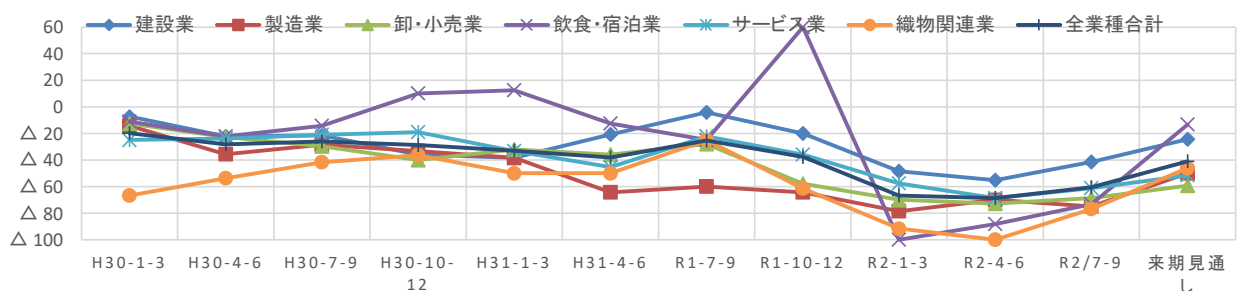


<コメント> 十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△59.7ポイントで、前回調査時よりも9.6ポイント好転となっている。推移グラフで分かるとおり、全業種で好転傾向にあるものの、3分の2の事業所で悪化回答されている。来期見通しでは、全業種にて今期よりも好転するものと予測されており、予測どおりの結果が出ることに期待したい。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

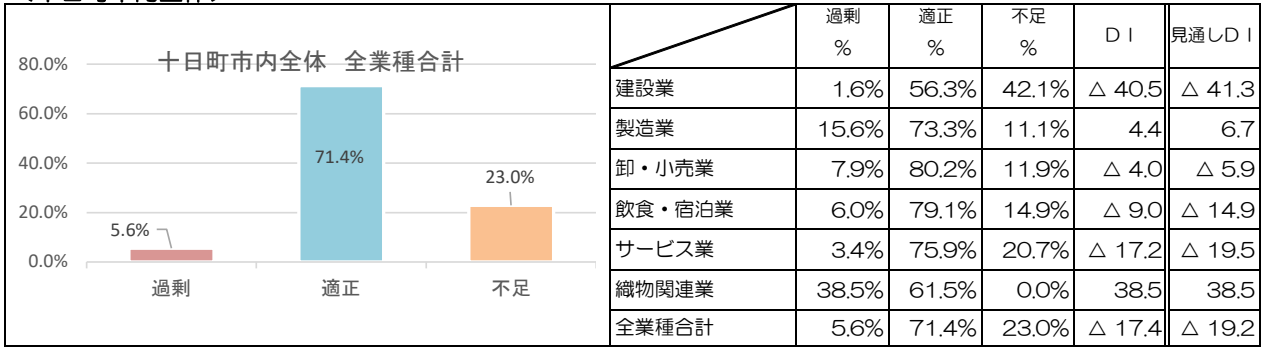


<コメント> 会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△60.4ポイント（前期比8.2ポイント増）と改善した。業種別にみると、製造業が△75.0ポイント（前期比5.0ポイント減）で悪化した。他の業種は改善をしている。来期見通しでは、全業種にて今期よりも好転するものと予測されており、予測どおりの結果が出ることに期待したい。

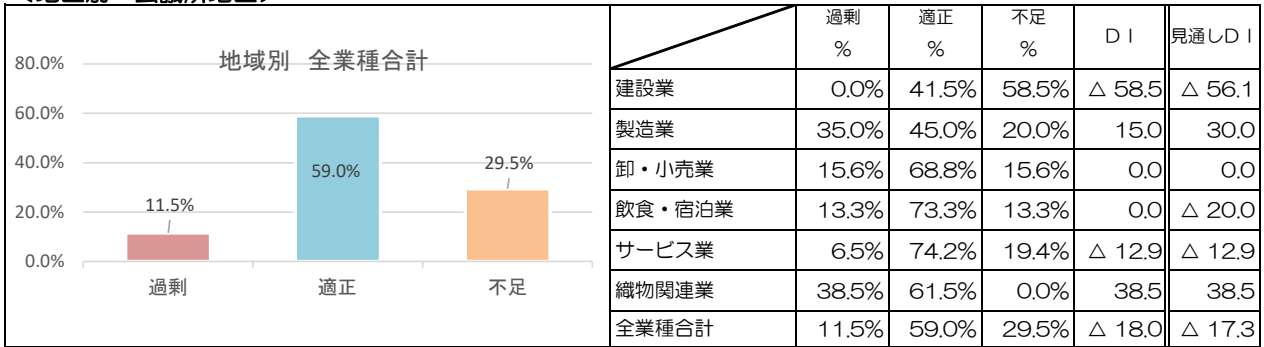
7. 従業員数について

・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：会議所地区>

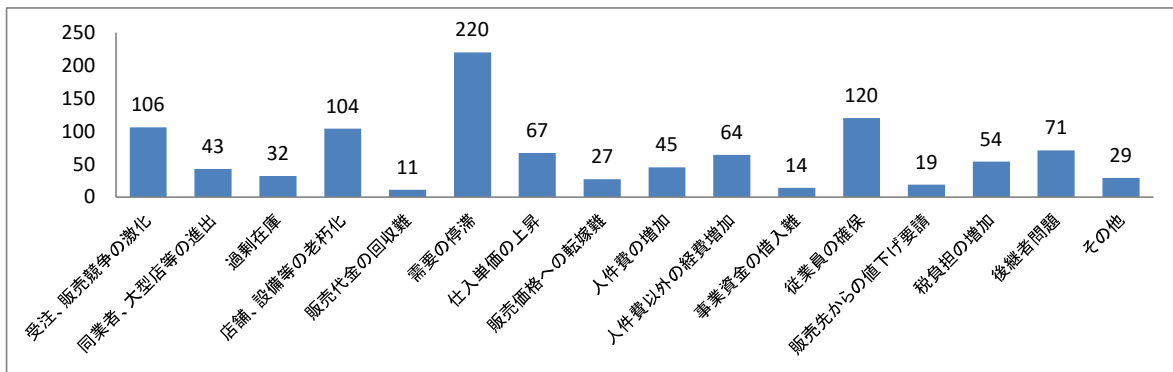


<コメント>

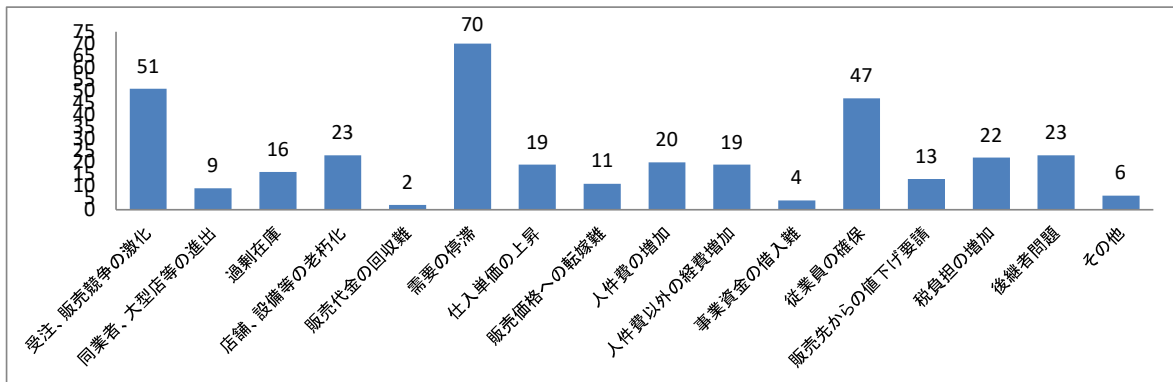
今期の従業員数（雇用動向）は、市内全体で5.6%の過剰と23.0%の不足となっている。前回調査時よりも過剰が2.6%減り、不足が2.8%増加している。会議所地区の状況は、全業種合計においては適正回答が一番多いものの、建設業の過剰回答は0件、織物関連業の不足回答は0件となっている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：7月～9月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント> 今回調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「従業員の確保」3位が「受注、販売競争の激化」であった。4位となっている「店舗、設備の老朽化」も3位と2ポイント差であり、この4項目が問題視されている。会議所地区の経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「受注、販売競争の激化」3位が「従業員の確保」であった。



## 9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

<p><b>【建設業】</b> 今期の建設業の状況は、雇用動向以外の項目全てでポイントが上昇した。「従業員の確保」が経営上の問題点で一番多く回答されており、また雇用動向の項目では約6割の事業所が従業員不足と回答している。来期見通しにおいては、売上、採算、資金繰りで好転(増加)予測があり、実際の数値に注視したい。</p>
<p><b>【製造業】</b> 今期の製造業の状況は、採算、資金繰りにおいて前回調査時と同様のポイントで推移しているが、売上、仕入単価、販売単価については前期と比較して悪化回答が多くありポイントが減少した。来期見通しにおいては、ポイントが減少した項目や採算で好転(増加)予測があり、実際の数値に注視したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>
<p><b>【卸・小売業】</b> 今期の卸・小売業の状況は、売上状況で減少が見られるものの、採算、資金繰り、景況判断において前回調査時よりも改善傾向にある。来期見通しにおいても、雇用動向が今期と同様である以外は、すべての項目で好転(増加)予測されている。経営上の問題点では、「受注、販売競争の激化」と「需要の停滞」が多く回答されている。</p>
<p><b>【飲食・宿泊業】</b> 今期の飲食・宿泊業の状況は、前回調査時が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、売上において△100ポイントだったこともあり、今回調査では前回調査時よりも好転結果が出ている。7月期～9月期は、新型コロナウイルス感染症の感染が縮小したこともあり、この結果になったと推測する。来期見通しでも今期よりも売上、採算で大きな好転(増加)予測があり、実際の結果に期待したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>
<p><b>【サービス業】</b> 今期のサービス業の状況は、仕入単価と雇用動向でポイントが減少したものの、その他の項目で好転結果が出ている。来期見通しにおいても、売上、採算、資金繰りで好転(増加)予測があり、実際の数値に注目したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>
<p><b>【織物関連業】</b> 今期の織物関連業の状況は、飲食・宿泊業と同じく前回調査時が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、売上、採算、景況判断において△100ポイントだったこともあり、今回調査では前回調査時よりも好転結果が出ている。来期見通しでも今期よりも売上、採算で大きな好転(増加)予測があり、実際の結果に期待したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。</p>